

令和6年能登半島地震災害 日本赤十字社群馬県支部の活動報告



医療救護班（医師・看護師長・看護師2名・薬剤師・事務2名・支部調整員）

日本赤十字社群馬県支部では、令和6年1月1日の災害発生直後から情報収集を開始。珠洲市に向けて支援要員を派遣し活動拠点を立ち上げました。以降は、現地への医療救護班、医療コーディネーターチーム、DMATを継続的に派遣しています。



地震直後の情報収集（1月1日～） 支援要員の珠洲市派遣（1月5日～8日）

（以降、医療救護班派遣を中心に活動が動き出します。裏面へ）



雪の降り積もる中、避難所を回り、被災された方々への対応にあたっています



前橋・原町の赤十字救護班、支部職員を継続的に被災地に派遣しています



1月10日から、珠洲市に向けて医療救護班の派遣を開始しました

第3班から接骨師奉仕団も同行



- 第1 救護班 (原町日赤) 1/10~14
- 第2 救護班 (前橋日赤) 1/16~20
- 第3 救護班 (前橋日赤) 1/22~26
- 第4 救護班 (前橋日赤) 1/31~2/4
- 第5 救護班 (原町日赤) 2/11~15
- 第6 救護班 (原町日赤) 2/24~28

その他、珠洲市、七尾市、金沢市等に向けてDMATや医療コーディネーターチームの派遣を継続して行っています